

東京エレクトロン デバイス株式会社 会社説明会 東証IRフェスタ2010

2010年3月6日

取締役 執行役員専務 久我 宣之

取締役 執行役員専務 木村 勉

目 次

- ◆ 会 社 概 要
- ◆ 事 業 紹 介
- ◆ 当社の目指す方向性
- ◆ 今期の業績予想

会 社 概 要



東京エレクトロン デバイス株式会社

3

当 社 概 要

- ◆設 立 : 1986年3月3日
- ◆事業内容 : 半導体、コンピュータ・ネットワーク機器等の専門商社
- ◆売 上 高 : 820億円(2010年3月期見込み)
- ◆本 社 : 横浜市神奈川区金港町1番地4横浜イーストスクエア
- ◆従 業 員 : 連結845名(2009年12月31日)
- ◆関連会社 : TED上海
TED香港
TEDシンガポール
パネトロン株式会社



本 社



東京エレクトロン デバイス株式会社

4

国内営業拠点

◆ 全国展開 20拠点

2009年12月 つくばオフィス開設

2010年 4月 姫路営業所、広島営業所
開設予定



5

海外拠点

◆ アジア地域に拠点を展開

<営業拠点>

大連、上海、深圳、香港
シンガポール

<設計開発拠点>

上海、無錫



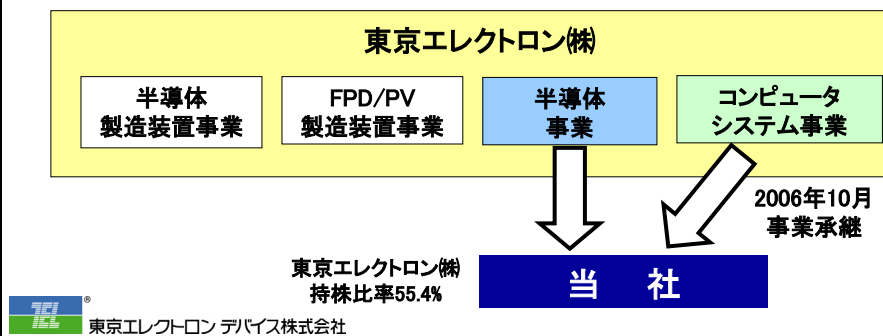
東京エレクトロン デバイス株式会社

6

当 社 治 革

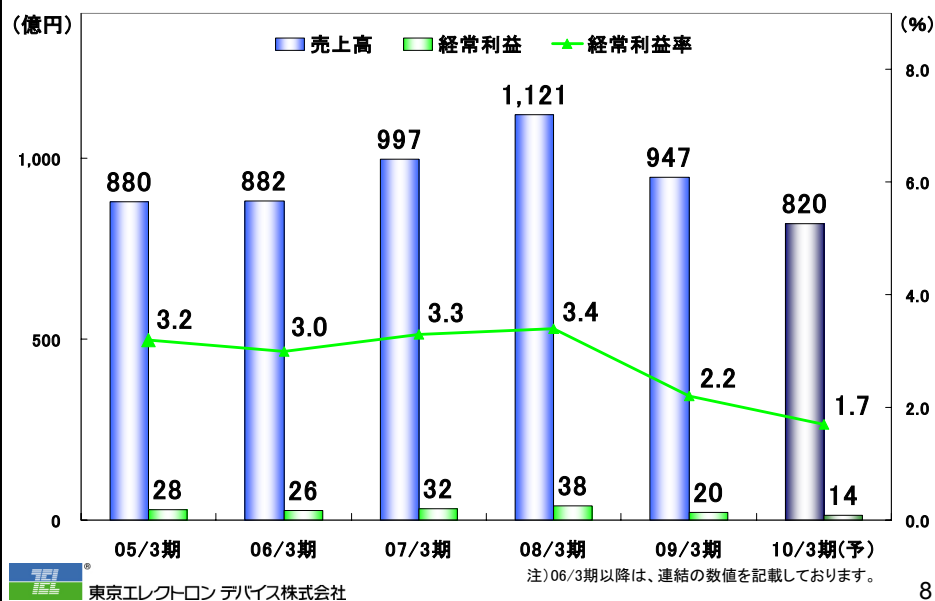
◆40年超の歴史と経験を有する専門商社

- ◆1965年 東京エレクトロン(株)の半導体事業部門としてビジネスを開始
- ◆1998年 東京エレクトロン(株)の全ての半導体事業が分離・独立
- ◆2003年3月7日 東証2部 上場
- ◆2006年10月 コンピュータシステム事業を承継



7

業 績 推 移 ・ 計 画



8

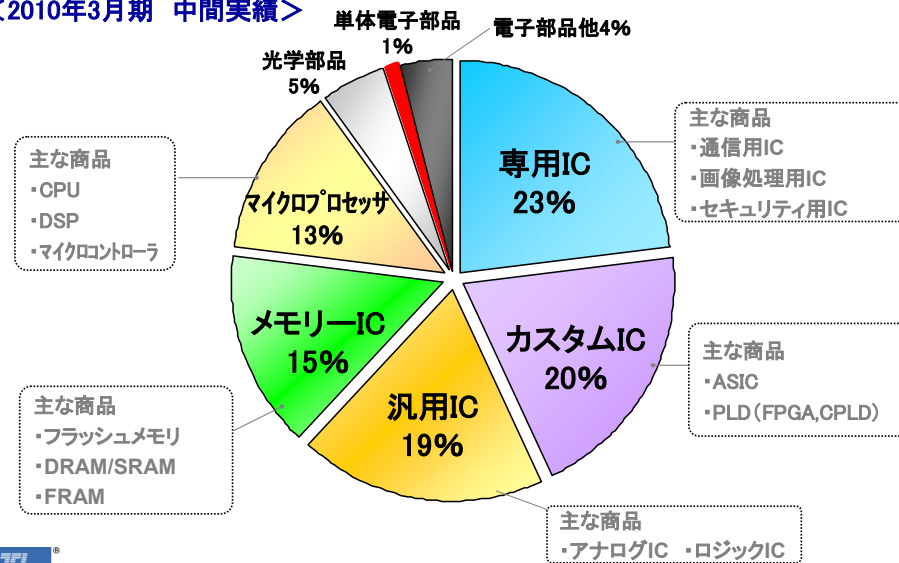
事業紹介 半導体事業



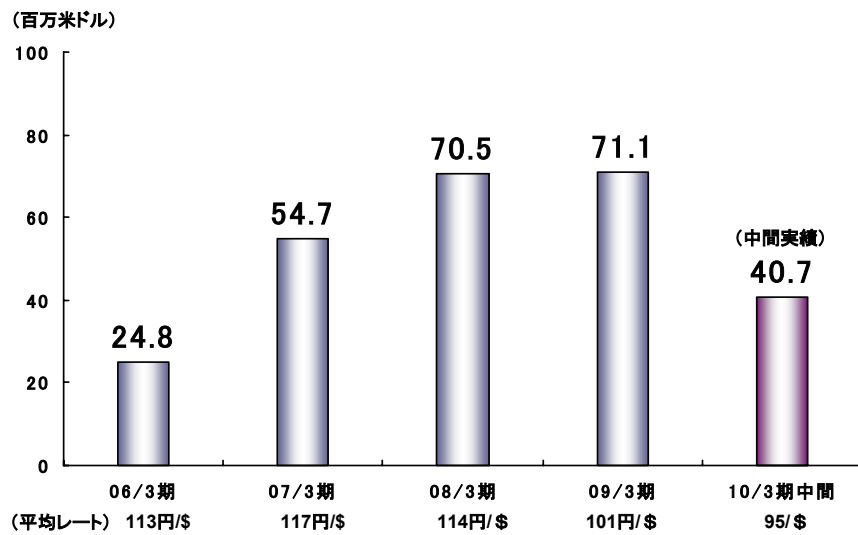
動画でご説明いたします。スクリーンをご覧ください。

品目別売上構成

<2010年3月期 中間実績>



海外ビジネス 売上高推移



事業紹介 半導体事業 開発ビジネス



動画でご説明いたします。スクリーンをご覧ください。

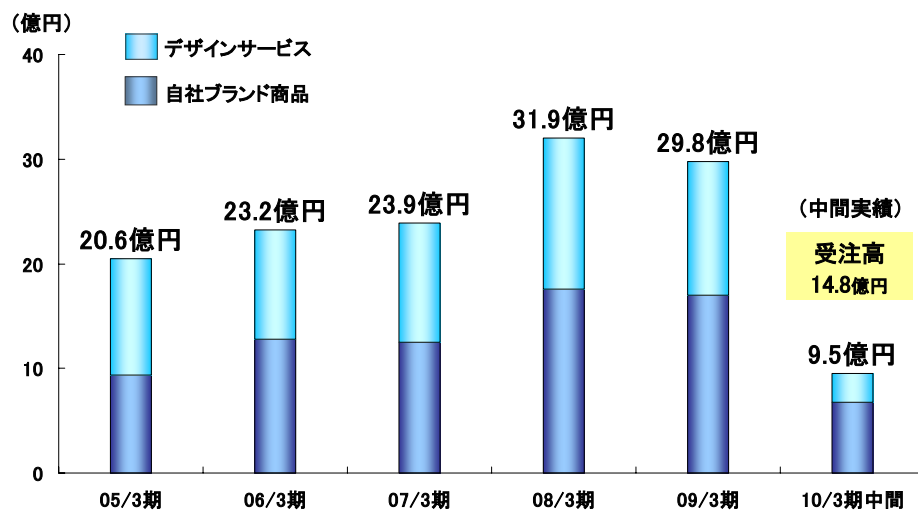
開発ビジネス

◆メーカー機能への取り組み



開発ビジネス 売上高推移

inrevium



半導体事業 まとめ

- ◆ 独立系半導体商社として、長年の実績と信頼
- ◆ 高付加価値半導体を中心とした商品構成
- ◆ 国内外の最先端商品を技術サポートとともに提供
- ◆ 主なお客様は、国内電子機器メーカー
- ◆ 最終製品は、幅広い分野
- ◆ 海外への販売に注力
- ◆ メーカー機能を持つ技術商社

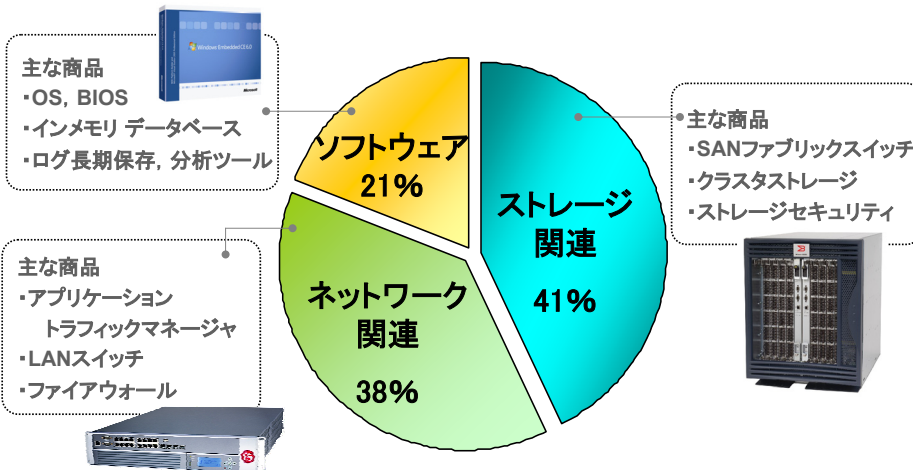
事業紹介 コンピュータシステム事業



動画でご説明いたします。スクリーンをご覧ください。

品目別売上構成

<2010年3月期 中間実績>



コンピュータシステム事業 まとめ

- ◆ 主に米国からユニークで差別化が可能な最先端技術を探し出し、国内に投入
- ◆ 参入したマーケットでNo.1になる事が選定基準
- ◆ 技術的に難しい複合システムを構築し提供

当社の目指す方向性



東京エレクトロン デバイス株式会社

19

当社の目指す方向性

- ◆ マーケティング力とサポート力を
ベースに**更なる利益成長**
お客様から信頼される
「**No.1 技術商社**」を目指します。



東京エレクトロン デバイス株式会社

20

成長戦略

1. 海外展開

- ・ アジア地域への拡販

2. 開発ビジネス

- ・ 市場ニーズに沿った自社製品開発を加速

3. データセンター向けビジネス

- ・ インターネットの普及、クラウドコンピューティング時代に突入
- ・ 需要が高まるデータセンター向けに提案営業を強化

成長戦略

4. 最先端商品のマーケティングとサポート

- ・ 主に北米から最新でユニークな商品や技術を発掘
- ・ 技術的付加価値とともにお客様へ提案

5. 新規事業

- ・ 環境エネルギー/セキュリティ等成長分野への進出



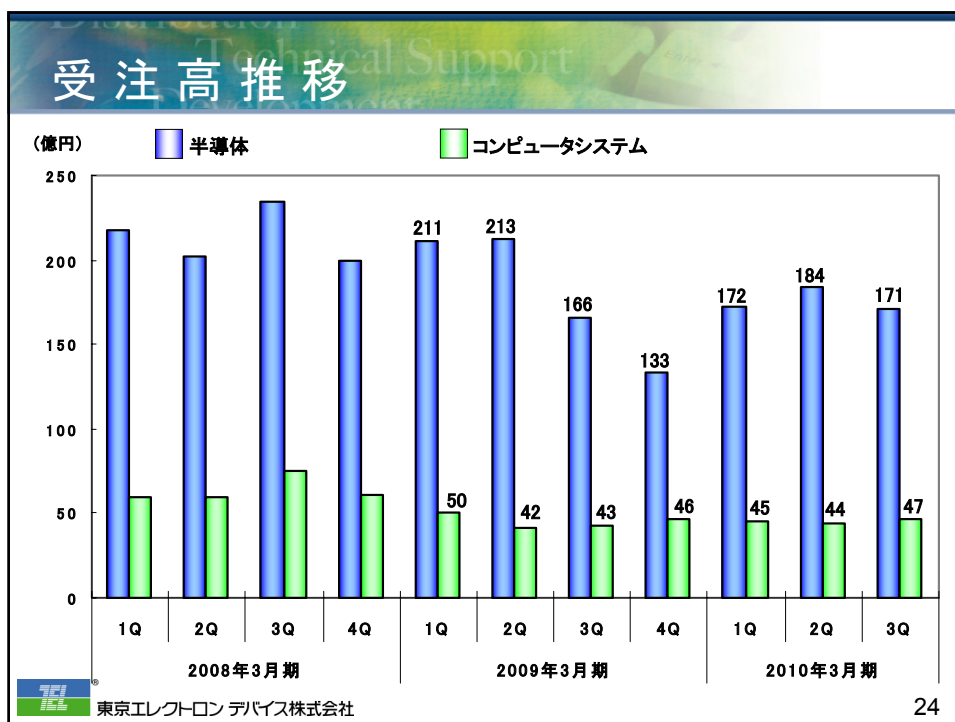
過去最高売上高1,121億円の更新を早期に実現

Technical Support
Development

今期の業績予想


東京エレクトロン デバイス株式会社

23



当社を取りまく事業環境

＜半導体事業＞

- ・ 半導体市場は上期に在庫調整が終了
- ・ 民生機器は堅調に推移
- ・ 産業機器は回復傾向

＜コンピュータシステム事業＞

- ・ データセンター等投資継続分野はあるが、引き続き国内IT市場はマイナス成長を想定
- ・ 製品販売は苦戦、保守サービスは堅調

2010年3月期 活動方針

1. 利益確保に向けた体質強化

- ・ 管理可能費用のコントロールの徹底
- ⇒販売費及び一般管理費を
年間10億円削減予定(2009年3月期比)

2010年3月期 活動方針

2. 将来の成長を見据えた営業活動

① コンピュータシステム事業

- ・ 製品別営業からお客様別営業に組織改編
- ・ ソリューション提案営業を強化

② 半導体事業

- ・ 既存顧客の深掘り及び商権拡大
- ・ 成長分野(環境/セキュリティ)等への販売促進活動

2010年3月期 活動方針

inrevium

③ 開発ビジネス

＜設計受託業務、OEM＞

- ・ 量産供給及び品質体制の強化

＜自社ブランド商品＞

- ・ セキュリティ関連向け商品群の拡充
- ・ アジア地域への販売推進

2010年3月期 業績予想

2009年10月29日発表

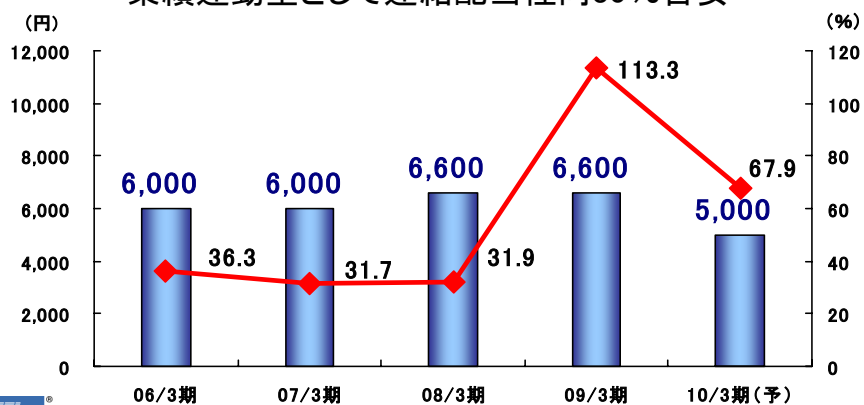
(単位:百万円)

	中間実績	下期予想	通期予想	対前年通期 増減額
売上高	40,923	41,077	82,000	▲12,701
営業利益	615	865	1,480	▲360
経常利益	620	780	1,400	▲641
当期純利益	308	472	780	163

配 当 に つ い て

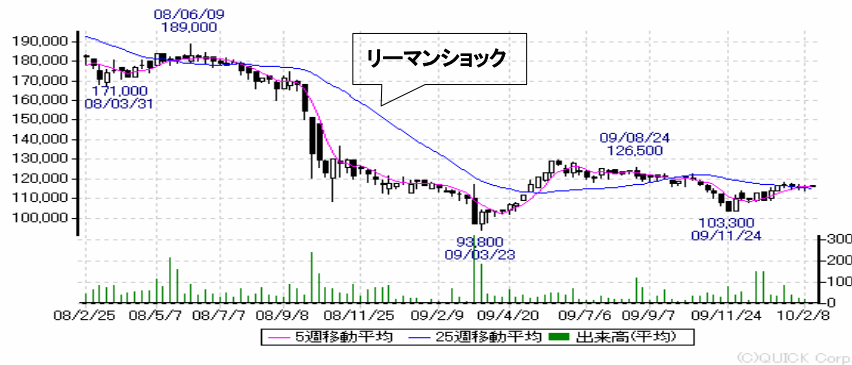
◆ 配当方針

- ・ 継続的かつ安定的な配当の実施
- ・ 業績連動型として連結配当性向30%目安



株式指標(証券コード2760)

- ・ 1株当り配当金: 中間2,500円、期末2,500円(2010年3月予定)
- ・ 配当利回り: 4.3%(3月1日株価終値116,100円で計算)
- ・ 予想PER: 15.8倍 ・PBR0.6倍



資料取扱い上の注意

このプレゼンテーションで述べられている将来の当社事業に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに構築されたものです。

当社の参画するエレクトロニクス業界及びIT業界は変化のスピードが大変速く、また、世界経済、半導体市況など、当社の業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。

したがって、今後当社の業績見通しが本プレゼンテーションと異なる可能性があることをご注意ください。また、大きな変更がある場合は、その都度発表していく所存です。